

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	独立行政法人国立文化財機構運営費交付金に必要な経費		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度(統合年度:平成19年度)		担当課室	長官官房政策課		政策課長 山崎 秀保	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人国立文化財機構法(平成11年法律第178号)第12条第1項		関係する計画、通知等	中期目標、中期計画、年度計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	我が国における文化財保護政策の一翼を担い、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図るため、有形文化財の収集・保管・展示等の中心的拠点となる博物館の設置・運営を行う。また、文化財の研究を、多様な手法により実施する。特に文化財の保存・修復等に関する研究の中核的拠点を形成しつつ取り組む。さらに調査・研究成果の国民への公開、文化財担当者の研修、地方公共団体等への助言等を行うとともに、文化財とその活用に関する国際交流や国際協力を積極的に推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	8,367	8,192	7,941	7,602	8,266
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	8,367	8,192	7,941	7,602	8,266	
	執行額	8,367	8,192	7,941			
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	[展覧事業] ○歴史・伝統文化の保存と継承の中核的拠点としての収蔵品の整備 ・体系的・通史的にバランスのとれた収蔵品の充実を図る ○文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信 ・魅力ある質の高い展示 ・歴史・伝統文化の理解促進 ・快適な観覧環境の提供		成果実績	【文化財の収集】 平成21年度:購入件数46件、寄贈件数148件 平成22年度:購入件数65件、寄贈件数70件 平成23年度:購入件数34件、寄贈件数176件 平成23年度末:収蔵品件数122,802件[うち国宝130件、重要文化財946件] 【文化財の寄託(目標値)】 平成21年度:寄託件数11,904件(11,060件)[うち国宝184件、重要文化財1,191件] 平成22年度:寄託件数11,975件(11,060件)[うち国宝185件、重要文化財1,185件] 平成23年度:寄託件数11,866件(-)[うち国宝186件、重要文化財1,180件] ※平成23年度から寄託件数の目標値は設定していない 【平常展(目標値)】 平成21年度:開催日数931日、陳列替回数755回(515回)、来館者数1,011,869人 平成22年度:開催日数894、陳列替回数725回(1,350回)、来館者数719,179人 平成23年度:開催日数945日、陳列替回数6,768件(5,500件)、来館者数813,802人(861,192人) ※平成23年度から陳列替については陳列替した作品の件数に統一した ※平成23年度から平常展来館者数に目標値を設定している			

		<p>【特別展(目標値)】(※海外展を除く) 平成21年度:開催回数18回(9~13回)、開催日数851日、来館者数4,017,329人(2,025,000人) 平成22年度:開催回数15回(9~13回)、開催日数692日、来館者数2,162,133人(1,790,000人) 平成23年度:開催回数20回(9~13回)、開催日数898日、来館者数2,364,612人(1,350,000人)</p> <p>【快適な観覧環境の提供】 ・平常展の作品名等キャプションの基本情報を英語表示100%実施 ・案内パンフレットは各館で6~7ヶ国語で作成 ・特別展における混雑対策の実施(ウェブサイトで混雑情報を発信、入場制限、日傘貸出、給水提供、テント設置、看護師配置、正倉院展の閉館前入場割引の実施・託児所開設など) ・各種の障がい者対策を実施(障がい者用トイレ、スロープ、車椅子、オストメイト対応トイレの設置、手話通訳付ガイドツアーの実施、点字案内パンフレットの配布など) ・来館者アンケートを実施し結果を展示・サービス向上に反映 ・ミュージアムショップのオリジナルグッズやレストランの展覧会特別メニュー開発によりサービス向上</p>	
<p>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</p>	<p>【調査研究事業】 ○収蔵品の次代への継承 ・保存・管理・活用の環境整備、収蔵品の修理</p> <p>○我が国の博物館活動全体の活性化に寄与 ・収蔵品・収集・保存・管理・展示・教育活動等に関する調査研究 ・公私立博物館等に対する文化財の貸与、援助・助言 ・文化財情報の充実</p> <p>○文化財に関する調査及び研究の推進 ・基礎的・体系的な調査研究、調査研究手法の開発、先端的調査研究 ・国等の要請に応じた文化財の保存措置等のために必要な実践的な調査研究</p>	<p>【文化財の本格修理(目標値)】 平成21年度:146件(99件) 平成22年度:176件(100件) 平成23年度:146件(73件)</p> <p>【収蔵品の貸与(目標値)】 平成21年度:1,729件(1,350件) 平成22年度:1,936件(1,350件) 平成23年度:1,571件 ※平成23年度から貸与の目標値は設定していない</p> <p>【公私立博物館・美術館への指導助言】 平成21年度:317件(69件) 平成22年度:319件(69件) 平成23年度:412件 ※平成23年度から指導助言の目標値は設定していない</p> <p>【文化財情報のデジタル化】 ・収蔵品の国宝・重要文化財について高精細画像公開システム「e国宝」によりウェブサイトで公開 平成23年度末公開件数:1,047件[内訳:国宝130件、重要文化財917件]</p> <p>【文化財に関する調査研究】 ・[収集・保管のための調査研究]:特別調査「書跡」、特別調査「工芸」、特別調査「彫刻」、近畿地区社寺文化財の調査など ・[公衆への観覧のための調査研究]:特別展等の事前調査、博物館環境デザインに関する調査研究など ・[基礎的な調査研究]:我が国の建造物及び伝統的建造物群に関する調査・研究、平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡の発掘調査など ・[調査手法に関する研究]:文化財の非破壊調査法の研究、木質文化財の年輪年代測定法の研究など ※年輪年代学研究等で特許4件を取得 ・[保存・修復に関する研究]:文化財の生物劣化対策の研究、文化財の災害対策及び被災文化財の救援と保存修復手法に関する研究、伝統的修復材料と合成樹脂の研究など ・[国等の要請に応じた調査研究]:高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力</p>	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	<p>[国際研究協力事業] ○文化財の保存・修復を通じた我が国の国際貢献への寄与 ・保存・修復に関する国際協力、連携強化・情報交換、技術移転の促進など</p>	<p>成果実績</p> <p>【国際協力】 ・[文化財の保護・保存修復に関する協力]:カンボジア(アンコールワット遺跡)、アフガニスタン(バーミヤーン遺跡)、その他アジア諸国等 ・[人材育成に関する協力]:敦煌研究院保護研究所研究員への研修、ユネスコアジア文化センター等が実施する研修への協力など ・各種国際会議・国際ワークショップ等への参加 ・平成23年度に、堺市にアジア太平洋無形文化遺産研究センターを開設</p>	
	<p>[情報公開事業] ○情報発信機能の強化 ・文化財研究所の調査研究成果を発信し研究者をはじめ広く社会に還元する</p>	<p>成果実績</p> <p>【情報基盤の整備】 ・[文化財に関する専門的アーカイブ・データベースの充実]:近現代美術関係文献等のデータベース化、文化財保存修復国際情報データベース化など</p> <p>【刊行物】 ・[定期刊行物]:東文研ニュース・年報・概要、奈文研ニュース・紀要・概要・埋蔵文化財ニュースなど ・[研究報告等]:美術研究、日本美術年鑑、保存科学、無形文化遺産研究報告、その他研究報告書・研究論文集など</p> <p>【講演会等】 ・公開講演会、現地説明会、国際シンポジウム、公開学術講座等の開催</p> <p>【ホームページアクセス件数(目標値)】 平成21年度:2,448,108件(1,112,695件) 平成22年度:6,466,167件(1,112,695件) 平成23年度:1,771,695件 ※平成23年度からアクセス件数のカウントをユーザーセッション数に統一した。 ※平成23年度からアクセス件数の目標値は設定していない。</p>	
	<p>[展示出版事業] ○調査研究成果の適時適切な公表により社会に還元 ・文化財研究所の展示公開施設における調査研究成果の公表による一般への理解 ・文化庁等が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業に協力</p>	<p>成果実績</p> <p>【展示公開施設来館者(目標値)】 平成21年度:来館者数127,160人(142,917人) 平成22年度:来館者数510,931人(142,917人) 平成23年度:来館者数177,745人(138,609人)</p>	

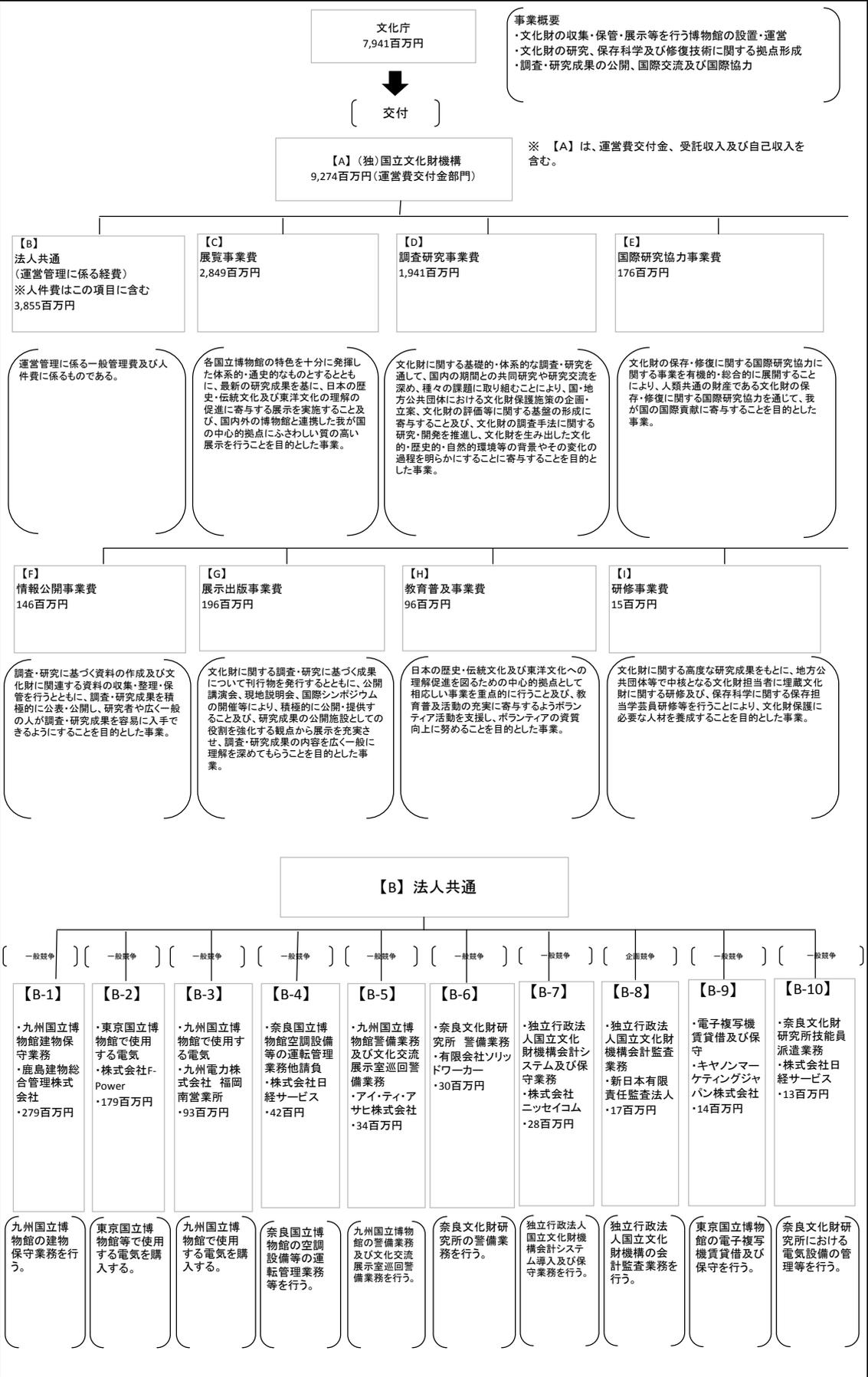
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	<p>[教育普及事業] ○歴史・伝統文化の理解促進 ・幅広い学習機会を提供する ・ボランティアや支援団体の育成・相互協力による充実を図る</p>	成果実績	<p>【講演会等参加者数(目標値)】 平成21年度:開催数301回、参加者35,331人(24,893人) 平成22年度:開催数235回、参加者22,977人(24,893人) 平成23年度:開催数244回(163回)、参加者24,953人(14,948人) ※平成23年度から開催数の目標値も設定している。</p> <p>【ボランティア登録】 平成21年度:641人 平成22年度:572人 平成23年度:675人</p>				
	<p>[研修事業] ○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上 ・専門的・技術的な協力・助言を行う ・高度な研修の実施により文化財保護における中核的人材を育成する</p>	成果実績	<p>【専門的・技術的な協力・助言】 平成21年度:482件 平成22年度:502件 平成23年度:652件</p> <p>【研修会(目標値)】 [埋蔵文化財担当者研修] 平成21年度:実施数12課程(12課程)、延参加人数130人(142人) 平成22年度:実施数11課程(13課程)、延参加人数137人(163人) 平成23年度:実施数13課程(13課程)、延参加人数136人(160人) [保存担当学芸員研修] 平成21年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数31人(25人) 平成22年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数33人(25人) 平成23年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数27人(25人)</p>				
		達成度	%	100%			
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	<p>[展覧事業] ○歴史・伝統文化の保存と継承の中核的拠点としての収蔵品の整備 ・以下に掲げる各館の収集方針に沿って、体系的・通史的にバランスのとれた収蔵品の収集・保存・管理・展示を行う。 (東京国立博物館) 我が国の総合的な博物館として、日本を中心にして広くアジア諸地域にわたる文化財を対象とする。 (京都国立博物館) 平安時代から江戸時代の京都文化を中心とした文化財を対象とする。 (奈良国立博物館) 仏教美術及び奈良を中心とした文化財を対象とする。 (九州国立博物館) 日本とアジア諸地域との文化交流を中心とした文化財を対象とする。</p> <p>○文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信 ・平常展は、展覧事業の中核と位置付け、各国立博物館の特色を十分に発揮した体系的・通史的なものとする。 ・特別展等については、国内外の博物館と連携した我が国の中核的拠点にふさわしい質の高い展示を行う。積年の研究成果の発表や時機に合わせた展示を企画し、国民の知的好奇心を刺激する展示を実施する。特別展等の開催回数は概ね年9～13回程度とする。</p>	活動実績 (当初見込み)	<p>【収集】 (東京国立博物館) ※平成23年度は東洋館の開館準備(平成25年1月予定)を優先する等の理由により陳列品の購入は見送った。 (京都国立博物館) ・「春秋禽狗遊楽図屏風」、「大雞小雞図」、「銭弘俶八万四千塔」などを収集した。 (奈良国立博物館) ・「紙本墨書万昆嶋主解」、「紙本墨書足利義満書状案」、「木造阿弥陀如来坐像」などを収集した。 (九州国立博物館) ・「紙本着色病草紙断簡」、「絹本着色阿弥陀浄土図」、「地藏菩薩遊戯坐像」などを収集した。</p> <p>【平常展について】 (東京国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間4,914件の展示替えを行いつつ、年間7,394件の文化財を展示した。 (京都国立博物館) ※平常展示館建替工事に伴い、平成20年12月から平常展示は休止中。 (奈良国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間481件の展示替えを行いつつ、年間1,092件の文化財を展示した。 (九州国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間1,373件の展示替えを行いつつ、年間2,417件の文化財を展示した。</p>	()	陳列替件数目標値 (東博4,500件、奈博400件、九博1,100件)	陳列総件数目標値 (東博6,500件、奈博700件、九博1,700件)	

		<p>【特別展等について】主な特別展 (東京国立博物館) ・国宝阿修羅展(平成21年3~6月)、空海と密教美術展(平成23年7~9月)、北京故宫博物院200選(平成24年1~2月) (京都国立博物館) ・THEハブスブルク(平成22年1~3月)、没後400年長谷川等伯(平成22年4~5月) (奈良国立博物館) ・正倉院展(各年10~11月)、大遣唐使展(平成22年4~6月) (九州国立博物館) ・国宝阿修羅展(平成21年7~9月)、没後120年ゴッホ展(平成23年1~2月)、よみがえる国宝(平成23年6~8月)</p>	<p>特別展開催目標数 (9~13回程度)</p> <p>特別展目標来館者数 (1,670,000人)</p>
<p>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>【調査研究事業】 ○収蔵品の次代への継承 ・収集・保存・管理に関する研究を実施し、有形文化財の保存に寄与する。 ・耐震対策を計画的かつ速やかに実施し、保存・活用のための環境整備を図る。 ・修理・保存処理を要する収蔵品等について、緊急性の高い収蔵品から順次、計画的に修理する。</p> <p>○我が国の博物館活動全体の活性化に寄与 ・収蔵品については、その保存状況を勘案しつつ、公私立の博物館等に対し、展示等の充実に寄与するため貸与を推進する。 ・公私立博物館等に対する援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的ネットワークの形成等に努める。</p> <p>○文化財情報・研究成果などを広く公表すること等を通じて歴史・伝統文化に対する理解が深まるよう努める。 ・収蔵品等に関する調査研究の成果を広く発信する。 ・広報印刷物やウェブサイト等自主媒体の活用及びマスメディアとの連携強化等により、積極的な広報を行う。 ・収蔵品等の文化財その他関連する資料の情報について、永く後世に記録を残すために、データ整備及びデジタル化を推進する。また、ウェブサイトなどの公開システムの充実を行う。</p>	<p>活動実績 (当初見込み)</p> <p>【保管・修理】 ・収蔵品の温湿度管理、防虫対策、耐震対策、作品輸送時の振動調査など、文化財の適切な管理に必要な対策を継続的に実施した。 ・収蔵品の応急修理に積極的に取り組み、劣化の予防に努め、緊急性の高いものから本格修理を実施した。</p> <p>【収蔵品の貸与】 ・国内外の博物館等の要請に応じて、その展示等の充実に寄与するため、収蔵品の保存状態を勘案しつつ貸与を実施した。</p> <p>【公私立博物館・美術館への指導助言】 ・公私立の博物館・美術館等の要請に応じて、展覧会及び運営、作品の展示・保存・修理等の援助・助言を行い、文化財の公開・保護等の水準向上に努めた。</p> <p>【文化財情報のデジタル化】 ・収蔵品の文化財とその関連情報について、永く後世に残すためデジタル化を推進し、収蔵品の国宝・重要文化財高精細画像公開システム「e国宝」をはじめとして、ウェブサイトで広く公開を行った。</p>	<p>修理目標件数 (74件)</p>
	<p>【国際研究協力事業】 ○文化財の保存・修復を通じた我が国の国際貢献への寄与 ・国際共同研究を通じて諸外国の保存・修復の考え方や技術に関する研究を進め、国際協力を推進するための基盤を整備する。継続的な国際協力のネットワークを構築し、アジア地域を中心とする諸外国の文化財の保護事業を推進する。 ・諸外国における文化財の保存・修復に関する人事育成と技術移転を積極的に進める。</p>	<p>活動実績 (当初見込み)</p> <p>【国際協力】 ・文化財研究所が、アジア諸国等における文化財の保護協力、技術移転・専門家養成等の支援等を実施した。 ・平成23年度に、堺市にアジア太平洋無形文化遺産研究センターを開設し、ユネスコ無形文化遺産保護条約を中心とした国際的動向の情報収集を図るとともに、文部科学省及び文化庁の受託事業を実施した。</p> <p>【主な文化財の保護・保存修復に関する協力】 ・カンボジアでアンコールワット遺跡群の調査を実施。 ・アフガニスタンのバーミヤーン遺跡保存修復協力事業を実施。 【主な人材育成に関する協力】 ・中国敦煌研究院保護研究所の研究員を招へいし研修を実施。 ・ユネスコアジア文化センター等が実施する研修への協力を実施。</p>	<p>— ()</p>
	<p>【情報公開事業】 ○情報発信機能の強化 ・情報基盤の整備・充実を図り、文化財情報の計画的収集・整理・保管及びそれらの電子化の推進による文化財に関する専門的アーカイブの拡充を行うとともに、調査研究に基づく成果としてのデータベースの充実を図る。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を刊行する。 ・公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に公開・提供する。 ・研究所の研究・業務等を広報するためウェブサイト等の充実を図る。</p>	<p>活動実績 (当初見込み)</p> <p>・情報基盤の整備のため、近現代美術関係文献等のデータベース化、文化財保存修復国際情報データベース化など、文化財に関する専門的アーカイブ・データベースの充実を行った。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を発行するとともに、公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に成果の公開・提供を行った。 ・また、研究所の研究・業務等を広報するため、ホームページのレイアウトを更新し、各種活動報告、イベント情報の公開、メールマガジンの配信などホームページの充実により、ホームページアクセスの増加を図った。奈良文化財研究所についてはホームページの完全リニューアルを行った。</p>	<p>— ()</p>

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	[展示出版事業] ○調査研究成果の適時適切な公表により社会に還元 ・平城宮跡資料館等について、研究成果の公開施設として展示を充実させ、調査・研究成果の内容を広く一般に理解を深めてもらうことに資する。 ・文化庁等が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業に協力し、支援を実施する。	活動実績 (当初見込み)	・平城宮跡資料館、飛鳥資料館・藤原宮跡資料室等の展示公開施設において、調査研究成果・発掘調査の成果などを速やかに公開し、広く一般への理解を深めることを図った。 ・飛鳥資料館において「キトラ古墳壁画」の特別展示を、平成20～23年度の各年に実施した。 ・平城遷都1300年事業に合わせて、平成21年度に平城宮跡資料館をリニューアルし、常設展示の大幅な展示替えを行った。	研究成果公開施設目標来館者数 (138,609人)	
	[教育普及事業] ○歴史・伝統文化の理解促進 ・学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等と連携協力しながら、講演会、作品解説、スクールプログラム、ワークショップ等の学習機会を提供する。 ・教育普及活動の充実に寄与するようボランティアを支援する。 ・企業との連携や友の会活動の活性化等により博物館支援者の増加を図る。	活動実績 (当初見込み)	・各博物館において、文化財について分かりやすく理解するための、講演会・列品解説・ギャラリートーク・講座等を多数開催した。 ・学校との連携事業として、小・中・高等学校対象のスクールプログラム、中学生の職場体験、教員研修などを実施した。 ・キャンパスメンバーズの募集、インターンシップの募集、連携講座の実施等により、大学等との連携事業も実施した。 ・各施設においてボランティア活動の支援を行い、ボランティアの外国語による展示案内、点字・手話による案内、ガイドツアーやワークショップの開催など、多様な活動を行った。 ・友の会、パスポート及び賛助会の会員確保に努め、地域や企業との連携事業を推進した。	講演会等参加者目標数 (173回、16,290人)	
	[研修事業] ○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上 ・地方公共団体や大学、研究機関との連携・協力体制を構築し、文化財に関する協力・助言を行う。 ・埋蔵文化財に関する研修及び保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施する。	活動実績 (当初見込み)	・文化財研究所が、地方公共団体等の要請に応じて、文化財の修復及び整備に関する調査・助言、地方公共団体等が行う発掘調査への援助・助言など、文化財に関する専門的・技術的な協力・助言を多数実施した。 ・文化財に関する高度な研究成果をもとに地方公共団体等で中核となる文化財担当者に埋蔵文化財に関する研修、保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施した。 ・東京藝術大学等の大学との間での連携大学院教育を実施し、若手研究者の育成に寄与した。	埋蔵文化財担当者研修目標 (14課程、160人) 保存担当学芸員研修目標 (2週間、25名程度)	
単位当たりコスト	-	算出根拠	-		
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由	
	独立行政法人国立文化財機構運営費交付金	7,602 百万円	8,266 百万円	業務の効率化による減及び統合による経費の増	
	計	7,602 百万円	8,266 百万円		

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	貴重な国民的財産である文化財の収集保存、公開活用、文化財に関する調査研究事業等については、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業として、ナショナルセンターとしての独立行政法人国立文化財機構が実施すべき事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により支出先を選定しており、競争性の確保、単位あたりのコスト削減に努めている。また、契約手続にあたって、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	貴重な国民的財産である文化財の保存活用を図るナショナルセンターとして、年度計画どおり事業が実施されており、着実に成果をあげていると認められる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災において被災した文化財等の復旧活動の中心的な役割を積極的に担いつつ、年度計画どおり事業の目的に沿った事業運営がなされていることは評価できる。 ●所蔵品の陳列替えにより、展覧会事業の充実に努めていることは評価できる。 ●平成23年度に、アジア太平洋無形文化遺産研究センターを開設し、ユネスコ無形文化遺産保護条約を中心とした国際的動向の情報収集や各種受託事業を実施したことは評価できる。引き続き、事業の充実に努めることが求められる。 ●引き続き、国費の縮減のための業務運営の効率化に努めるとともに、ナショナルセンターとしての事業の充実のための外部資金の導入が求められる。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、独立行政法人に対する運営費交付金の交付事業であり、事業の効率化の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：これまでも業務運営の効率化に努めてきたところであるが、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」等を踏まえ、国の負担を増やさない形での事業の充実を図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(H22.12.7閣議決定)等を踏まえ、寄附金や賛助会員等への加入者の増加、募金箱の設置、映画等のロケーションのための建物等の貸与や会議・セミナーのための会議室の貸与等により、継続して自己収入拡大のための取組みを実施している。また、一般競争入札等による競争性の確保を促進し、仕様書の改善、適切な公告期間の確保、公告方法の拡大等により、入札への新規参入を促すなど、自己収入の拡大及びコスト縮減で、概算要求に▲448百万円反映した。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関係する計画、通知等については以下を参照。</p> <p>○中期目標 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/dokuritu/chuuki/bunkazai.htm</p> <p>○中期計画 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/03chukikeikaku_2011-2015.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p> <p>○業務方法書 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/01gyomuhoshosyo.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0483	平成23年行政事業レビュー	0405

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)



【C】 展覧事業費

(一般競争)	(一般競争)	(随意契約)	(一般競争)	(随意契約)	(随意契約)	(随意契約)	(随意契約)	(随意契約)	(随意契約)
【C-1】	【C-2】	【C-3】	【C-4】	【C-5】	【C-6】	【C-7】	【C-8】	【C-9】	【C-10】
<ul style="list-style-type: none"> ・東京国立博物館の施設管理・運営業務 ・山武・三冷・太平・東京国立博物館共同企業体 代表企業 株式会社山武 ・534百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国立博物館の展示場における来館者応対等業務 ・株式会社フクシ・エンタープライズ ・469百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙本着色病草紙断簡(尿を吐く男) 一幅 ・株式会社壺中居 ・250百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州国立博物館来館者対応等業務 ・株式会社九電ビジネスフロント ・141百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・地藏菩薩遊戯坐像 一躯 ・翰林画廊 ・133百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・絹本着色阿弥陀浄土図 一幅 ・株式会社水戸忠 ・63百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・木造阿弥陀如来坐像 一軀 ・有限会社神田紫雲洞 ・53百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・絹本墨画羅漢図 一幅 ・個人A ・50百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財 旧円満院宸殿障壁画 54面11枚のうち4面11枚及び8面 保存修理 ・一般社団法人国宝修理装こう師連盟九州支部 ・48百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙本墨書足利尊氏願経 妙法聖念処経 五帖外6点 ・株式会社思文閣出版 ・40百万円
東京国立博物館の施設管理・運営業務を行う。	東京国立博物館の展示場における来館者応対等業務を行う。	九州国立博物館の陳列品を購入する。	九州国立博物館の来館者対応等業務を行う。	九州国立博物館の陳列品を購入する。	九州国立博物館の陳列品を購入する。	奈良国立博物館の陳列品を購入する。	九州国立博物館の陳列品を購入する。	九州国立博物館の陳列品を購入する。	九州国立博物館の陳列品を購入する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

【D】 調査研究事業費

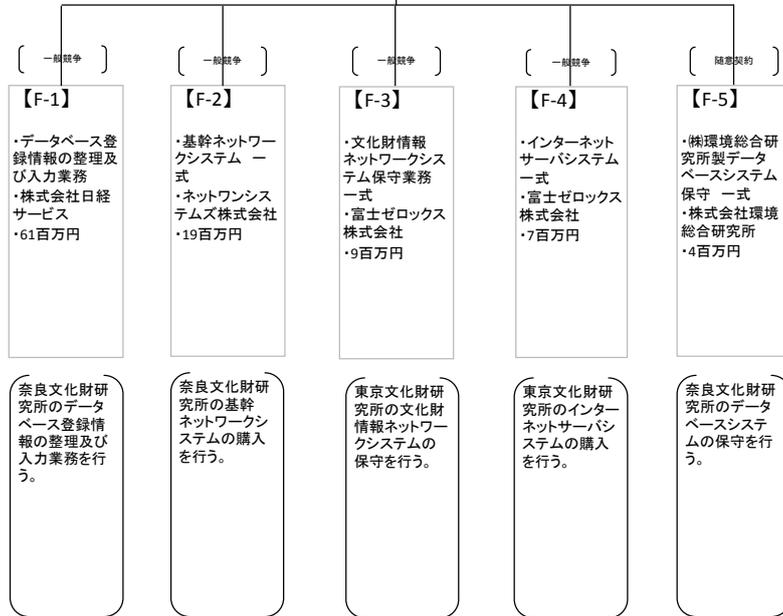
(一般競争)	(一般競争)	(企画競争)	(一般競争)	(企画競争)	(一般競争)	(随意契約)	(一般競争)	(一般競争)	(一般競争)
【D-1】	【D-2】	【D-3】	【D-4】	【D-5】	【D-6】	【D-7】	【D-8】	【D-9】	【D-10】
<ul style="list-style-type: none"> ・奈良文化財研究所労働者派遣業務 ・株式会社日経サービス ・53百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守 一式 ・株式会社ニコインステック九州支店 ・26百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・刺繍釈迦如来説法図 1面修理 ・株式会社文化財保存 ・22百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロフォーカスX線CT装置用X線発生部及び受光部 一式 ・島津サイエンス西日本株式会社 ・21百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都国立博物館列品修理 国宝 病草紙 10面 ・株式会社岡墨光堂 ・20百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財非破壊同定システム 一式 ・株式会社三ツワフロンテック ・20百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良文化財研究所都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)研究管理棟整理室他空調改修工事 ・小寺電業株式会社 奈良支店 ・18百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・都城発掘調査部の発掘調査に係る労働者派遣業務(朱雀大路緑地) ・株式会社島田組 ・17百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・エクロンX線CTシステム 高解像度X線源追加等作業 一式 ・エクロン・インターナショナル株式会社 ・15百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・都城発掘調査部の発掘調査に係る労働者派遣業務(飛鳥藤原174次発掘調査) ・株式会社マックス ・14百万円
奈良文化財研究所における研究補助、資料館の受付等の業務を行う。	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備の定期点検・保守業務を行う。	奈良国立博物館所蔵の列品の修理を行う。	奈良文化財研究所の研究機器を購入する。	京都国立博物館所蔵の列品の修理を行う。	奈良文化財研究所の研究機器を購入する。	奈良文化財研究所の空調改修工事を行う。	奈良文化財研究所都城発掘調査部の発掘調査に係る業務を行う。	九州国立博物館の研究機器機能追加等作業を行う。	奈良文化財研究所都城発掘調査部の発掘調査に係る業務を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する)(単位:
 百万円)

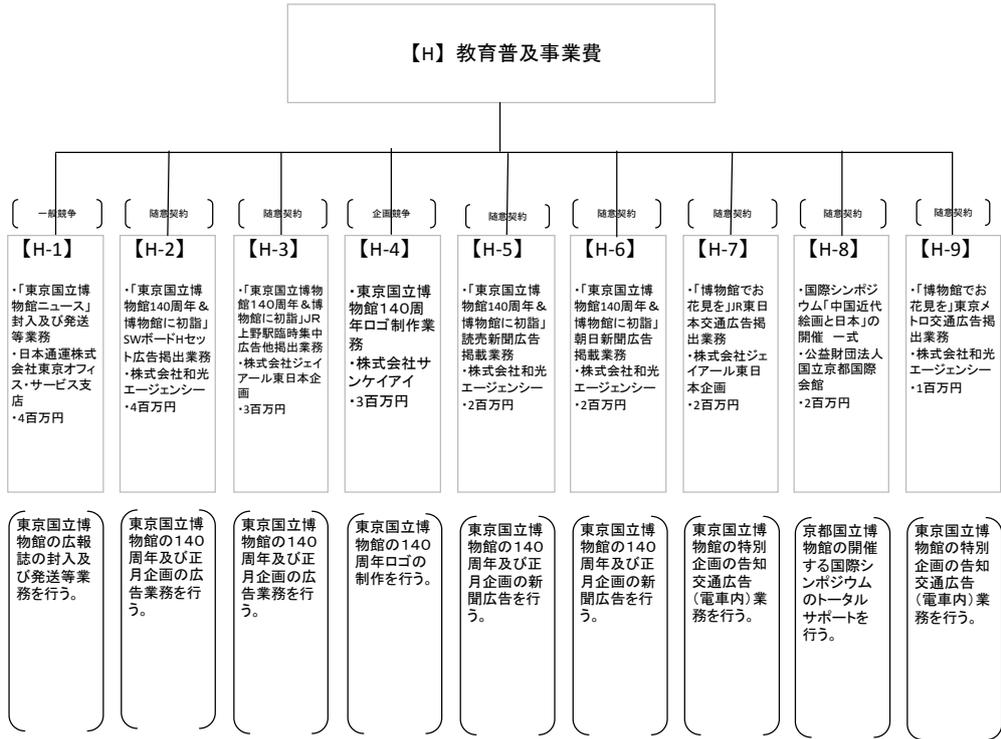
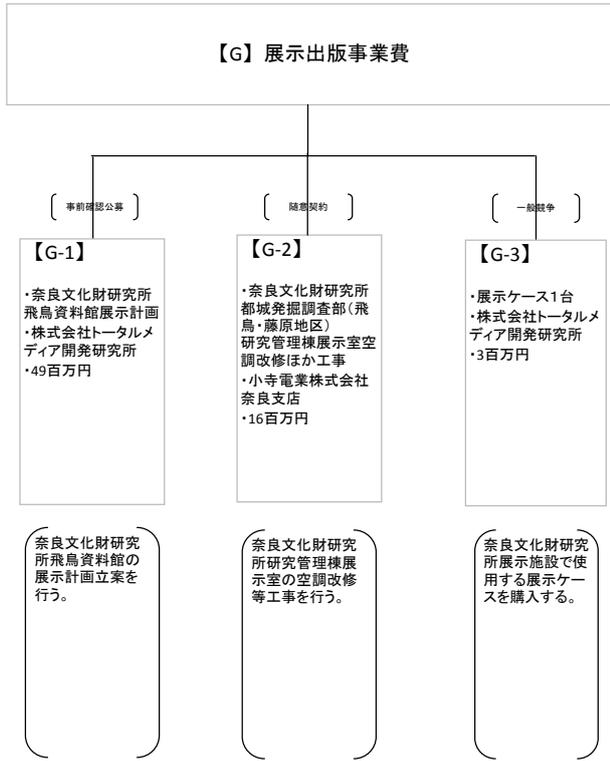
【E】 国際研究協力事業費



【F】 情報公開事業費



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)



【 I 】 研修事業費

{ }

【I-1】
1百万円以上の契約案件無し

{ }

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)国立文化財機構			E.国際研究協力事業費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	陳列品購入等(内訳はC. 以下参照)	5,419	事業費(物件費)	在外の日本文化財修復、国際会議開催等	176
事業費(人件費)	業務人件費	2,407			
一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	739			
一般管理費(人件費)	管理人件費	709			
計		9,274	計		176
B.法人共通			F.情報公開事業費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(人件費)	業務人件費	2,407	事業費(物件費)	ネットワーク機器保守等	146
一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	739			
一般管理費(人件費)	管理人件費	709			
計		3,855	計		146
C.展覧事業費			G.展示出版事業費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	陳列品購入、光熱費、展示場警備等	2,849	事業費(物件費)	研究公開施設の維持等	196
計		2,849	計		196
D.調査研究事業費			H.教育普及事業費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	調査研究機器、文化財修理等	1,941	事業費(物件費)	博物館広報の印刷物等	96
計		1,941	計		96

I. 研修事業費					
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	埋蔵文化財担当者研修等実施経費	15			
計		15	計		0
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

B-1.鹿島建物総合管理株式会社			B-5.アイ・ティ・アサヒ株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	九州国立博物館建物保守業務	279	役務	九州国立博物館警備業務及び文化交流展示室巡回警備業務	34
計		279	計		34
B-2.株式会社F-Power			B-6.有限会社ソリッドワーカー		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	東京国立博物館等で使用する電気	179	役務	奈良文化財研究所警備業務	30
計		179	計		30
B-3.九州電力株式会社 福岡南営業所			B-7.株式会社ニッセイコム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	九州国立博物館で使用する電気	93	役務	独立行政法人国立文化財機構会計システム及び保守業務	28
計		93	計		28
B-4.株式会社日経サービス			B-8.新日本有限責任監査法人		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	奈良国立博物館空調設備等の運転管理業務他請負	42	役務	独立行政法人国立文化財機構会計監査業務	17
計		42	計		17

B-9.キヤノンマーケティングジャパン株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	電子複写機賃貸借及び保守	14			
計		14	計		0
B-10.株式会社日経サービス					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	奈良文化財研究所技能員派遣業務	13			
計		13	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

C-1.山武・三冷・太平・東京国立博物館共同企業体 代表企業 株式会社山武			C-5.翰林画廊		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	東京国立博物館の施設管理・運営業務	534	物品	地藏菩薩遊戯坐像 一軀	133
計		534	計		133
C-2.株式会社フクシ・エンタープライズ			C-6.株式会社水戸忠		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	東京国立博物館の展示場における来館者対応等業務	469	物品	絹本着色阿弥陀浄土図 一幅	63
計		469	計		63
C-3.株式会社壺中居			C-7.有限会社神田紫雲洞		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	紙本着色病草紙断簡(尿を吐く男) 一幅	250	物品	木造阿弥陀如来坐像 一軀	53
計		250	計		53
C-4.株式会社九電ビジネスフロント			C-8.個人A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	九州国立博物館来館者対応等業務	141	物品	絹本墨画羅漢図 一幅	50
計		141	計		50

C-9.一般社団法人国宝修理装こう師連盟九州支部					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	重要文化財 旧円満院宸殿障壁画 5 4面11枚のうち4面11枚及び8面 保 存修理	48			
計		48	計		0
C-10.株式会社思文閣出版					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品	紙本墨書足利尊氏願經 妙法聖念処 經 五帖外6点	40			
計		40	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブ
 ロックごとに最大の金額が支
 出されている者について記
 載する。費目
 と使途の双方
 で実情が分か
 るように記載)

D-1.株式会社日経サービス			D-5.株式会社岡墨光堂		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	奈良文化財研究所労働者派遣業務	53	役務	京都国立博物館列品修理 国宝 病草紙 10面	20
計		53	計		20
D-2.株式会社ニコンインステック九州支店			D-6.株式会社三ツワフロンテック		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守 一式	26	物品	文化財非破壊同定システム 一式	20
計		26	計		20
D-3.株式会社文化財保存			D-7.小寺電業株式会社 奈良支店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	刺繍釈迦如來說法図 1面 修理	22	工事	奈良文化財研究所都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)研究管理棟整理室他空調改修工事	18
計		22	計		18
D-4.島津サイエンス西日本株式会社			D-8.株式会社島田組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品	マイクロフォーカスX線CT装置用X線発生部及び受光部 一式	21	役務	都城発掘調査部の発掘調査に係る労働者派遣業務(朱雀大路緑地)	17
計		21	計		17

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

D-9.エクスロン・インターナショナル株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	エクスロンX線CTシステム 高解像度 X線源追加等作業 一式	15			
計		15	計		0
D-10.株式会社マトックス					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	都城発掘調査部の発掘調査に係る労働者派遣業務(飛鳥藤原174次発掘調査)	14			
計		14	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

E-1.一般社団法人国宝修理装演師連盟関東支部					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	紙本・絹本文化財修復等支援業務一式	15			
計		15	計		0
E-2.株式会社堀内カラー					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	デンマーク国PHASEONE社製デジタルカメラバックシステム IQ-180一式	5			
計		5	計		0
E-3.一般社団法人国宝修理装演師連盟関東支部					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	国際研修2011「紙の保存と修復」実習指導業務 一式	3			
計		3	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

F-1.株式会社日経サービス			F-5.株式会社環境総合研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	データベース登録情報の整理及び入力業務	61	役務	(株)環境総合研究所製データベースシステム保守 一式	4
計		61	計		4
F-2.ネットワンシステムズ株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品	基幹ネットワークシステム 一式	19			
計		19	計		0
F-3.富士ゼロックス株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	文化財情報ネットワークシステム保守業務 一式	9			
計		9	計		0
F-4.富士ゼロックス株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品	インターネットサーバシステム 一式	7			
計		7	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

G-1.株式会社トータルメディア開発研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	奈良文化財研究所飛鳥資料館展示計画	49			
計		49	計		0
G-2.小寺電業株式会社 奈良支店					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	奈良文化財研究所都城発掘調査部 (飛鳥・藤原地区)研究管理棟展示室 空調改修ほか工事	16			
計		16	計		0
G-3.株式会社トータルメディア開発研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品	展示ケース 1台	3			
計		3	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

H-1.日本通運株式会社東京オフィス・サービス支店			H-5.株式会社和光エージェンシー		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	「東京国立博物館ニュース」封入及び発送等業務	4	役務	「東京国立博物館140周年&博物館に初詣」読売新聞広告掲載業務	2
計		4	計		2
H-2.株式会社和光エージェンシー			H-6.株式会社和光エージェンシー		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	「東京国立博物館140周年&博物館に初詣」SWボードHセット広告掲出業務	4	役務	「東京国立博物館140周年&博物館に初詣」朝日新聞広告掲載業務	2
計		4	計		2
H-3.株式会社ジェイアール東日本企画			H-7.株式会社ジェイアール東日本企画		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	「東京国立博物館140周年&博物館に初詣」JR上野駅臨時集中広告他掲出業務	3	役務	「博物館でお花見を」JR東日本交通広告掲出業務	2
計		3	計		2
H-4.株式会社サンケイアイ			H-8.公益財団法人国立京都国際会館		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	東京国立博物館140周年ロゴ制作業務	3	役務	国際シンポジウム「中国近代絵画と日本」の開催一式	2
計		3	計		2

H-9.株式会社和光エージェンシー

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	「博物館でお花見を」東京メトロ交通広告掲出業務	1			
計		1	計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載

I-1.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
該当無し		0			
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

B.法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建物総合管理株式会社	九州国立博物館の建物保守業務を行う。	279	1	-
2	株式会社F-Power	東京国立博物館で使用する電気を購入する。	179	1	-
3	九州電力株式会社 福岡南営業所	九州国立博物館で使用する電気を購入する。	93	1	-
4	株式会社日経サービス	奈良国立博物館の空調設備等の運転管理業務等を行う。	42	4	-
5	アイ・ティ・アサヒ株式会社	九州国立博物館の警備業務及び文化交流展示室巡回警備業務を行う。	34	7	-
6	有限会社ソリッドワーカー	奈良文化財研究所の警備業務を行う。	30	10	-
7	株式会社ニッセイコム	独立行政法人国立文化財機構会計システム導入及び保守業務を行う。	28	3	-
8	新日本有限責任監査法人	独立行政法人国立文化財機構の会計監査業務を行う。	17	企画競争	-
9	キャンマーケティングジャパン株式会社	東京国立博物館の電子複写機賃借及び保守を行う。	14	2	-
10	株式会社日経サービス	奈良文化財研究所における電気設備の管理等を行う。	13	2	-

C.展覧事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山武・三冷・太平・東京国立博物館共同企業体 代表企業 株式会社山武	東京国立博物館の施設管理・運営業務を行う。	534	2	-
2	株式会社フクシ・エンタープライズ	東京国立博物館の展示場における来館者対応等業務を行う。	469	2	-
3	株式会社壺中居	九州国立博物館の陳列品を購入する。	250	随意契約	-
4	株式会社九電ビジネスフロント	九州国立博物館の来館者対応等業務を行う。	141	2	-
5	翰林画廊	九州国立博物館の陳列品を購入する。	133	随意契約	-
6	株式会社水戸忠	九州国立博物館の陳列品を購入する。	63	随意契約	-
7	有限会社神田紫雲洞	奈良国立博物館の陳列品を購入する。	53	随意契約	-
8	個人A	九州国立博物館の陳列品を購入する。	50	随意契約	-
9	一般社団法人国宝修理装こう師連 盟九州支部	九州国立博物館の陳列品を購入する。	48	随意契約	-
10	株式会社思文閣出版	九州国立博物館の陳列品を購入する。	40	随意契約	-

D.調査研究事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日経サービス	奈良文化財研究所における研究補助、資料館の受付等の業務を行う	53	1	-
2	株式会社ニコンインステック九州支店	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備の定期点検・保守業務を行う。	26	1	-
3	株式会社文化財保存	奈良国立博物館所蔵の列品の修理を行う。	22	企画競争	-
4	鳥津サイエンス西日本株式会社	奈良文化財研究所の研究機器を購入する。	21	1	-
5	株式会社岡墨光堂	京都国立博物館所蔵の列品の修理を行う。	20	企画競争	-
6	株式会社三ツフロンテック	奈良文化財研究所の研究機器を購入する。	20	1	-
7	小寺電業株式会社 奈良支店	奈良文化財研究所の空調改修工事を行う。	18	随意契約	-
8	株式会社島田組	奈良文化財研究所都城発掘調査部の発掘調査に係る業務を行う。	17	7	-
9	エクスロン・インターナショナル株式会社	九州国立博物館の研究機器機能追加等作業を行う。	15	1	-
10	株式会社マトックス	奈良文化財研究所都城発掘調査部の発掘調査に係る業務を行う。	14	8	-

E.国際研究協力事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人国宝修理装填師連盟 関東支部	東京文化財研究所における紙本・絹本文化財の修復等支援業務を行う。	15	1	-
2	株式会社堀内カラー	奈良文化財研究所の研究機器を購入する。	5	1	-
3	一般社団法人国宝修理装填師連盟 関東支部	東京文化財研究所における国際研修の実習指導業務を行う。	3	1	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.情報公開事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日経サービス	奈良文化財研究所のデータベース登録情報の整理及び入力業務を行う。	61	1	-
2	ネットワンシステムズ株式会社	奈良文化財研究所の基幹ネットワークシステムの購入を行う。	19	4	-
3	富士ゼロックス株式会社	東京文化財研究所の文化財情報ネットワークシステムの保守を行う。	9	1	-
4	富士ゼロックス株式会社	東京文化財研究所のインターネットサーバシステムの購入を行う。	7	1	-
5	株式会社環境総合研究所	奈良文化財研究所のデータベースシステムの保守を行う。	4	随意契約	-
6					
7					
8					
9					
10					

G.展示出版事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社トータルメディア開発研究所	奈良文化財研究所飛鳥資料館の展示計画立案を行う。	49	随意契約 事前確認公募	-
2	小寺電業株式会社 奈良支店	奈良文化財研究所研究管理棟展示室の空調改修等工事を行う。	16	随意契約	-
3	株式会社トータルメディア開発研究所	奈良文化財研究所展示施設で使用する展示ケースを購入する。	3	4	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H.教育普及事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本通運株式会社東京オフィス・サービス支店	東京国立博物館の広報誌の封入及び発送等業務を行う。	4	7	-
2	株式会社和光エージェンシー	東京国立博物館の140周年及び正月企画の広告業務を行う。	4	随意契約	-
3	株式会社ジェイアール東日本企画	東京国立博物館の140周年及び正月企画の広告業務を行う。	3	随意契約	-
4	株式会社サンケイアイ	東京国立博物館の140周年ロゴの制作を行う。	3	企画競争	-
5	株式会社和光エージェンシー	東京国立博物館の140周年及び正月企画の新聞広告を行う。	2	随意契約	-
6	株式会社和光エージェンシー	東京国立博物館の140周年及び正月企画の新聞広告を行う。	2	随意契約	-
7	株式会社ジェイアール東日本企画	東京国立博物館の特別企画の告知交通広告(電車内)業務を行う。	2	随意契約	-
8	公益財団法人国立京都国際会館	京都国立博物館の開催する国際シンポジウムのトータルサポートを行う。	2	随意契約	-
9	株式会社和光エージェンシー	東京国立博物館の特別企画の告知交通広告(電車内)業務を行う。	1	随意契約	-
10					

I.研修事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	該当無し				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					